

「景気動向に関するアンケート調査」報告書

令和6年6月

【調査趣旨】

神栖市商工会会員事業所の現状把握および今後の支援策について検討することを目的とする。

【調査概要】

調査時期:2024年4月~5月31日

調査対象:商工会会員事業所等

調査方法:窓口・FAX・Web アンケート

回答数:83件

【今回調査の業種別 DI】(令和6年1~3月を令和5年10~12月と比較)

単位:%

項目\業種	全業種	製造業	小売業	建設業	卸売業	サービス業
3. 景況感	△ 24.0	△ 71.4	△ 50.0	△ 9.7	0.0	△ 12.0
4. 売上	△ 20.4	△ 57.1	△ 44.4	△ 3.2	0.0	△ 16.0
5. 仕入(原材料)価格	67.5	71.4	50.0	64.5	100.0	80.0
6. 利益	△ 38.6	△ 57.1	△ 55.6	△ 22.6	△ 50.0	△ 40.0
7. 資金繰り	△ 21.7	△ 42.9	△ 33.3	△ 16.1	0.0	△ 16.0
8. 3ヶ月先の見通し	△ 10.8	△ 28.6	△ 38.9	3.2	50.0	△ 8.0

<DIとは?>

DIとは、「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合を算出したもので、算出したDIの数値は大きい(プラスになる)ほど景気が良くなっていると判断されます。(※仕入価格以外)

※仕入価格のDI値は、マイナスとなる事が理想だが、プラスになっていても価格転嫁が適正に行われ、利益が増加していれば問題ないと考えられます。

【例】

売上DIの算出方法:集計結果 ①上昇した 16.9% ②変化なし 45.8% ③減少した 37.3% ⇒
① - ③(16.9 - 37.3) = △20.4 となります。

仕入DIの算出方法:集計結果 ①上昇した 71.1% ②変化なし 25.3% ③減少した 3.6% ⇒
① - ③(71.1 - 3.6) = 67.5 となります。

【アンケート結果(全業種)の概要】 ※前ページの集計に対するコメント

<景況感> 建設・卸売・サービス業では若干ではあるが前回の統計(次ページ「前回調査からの推移」参照)よりも景気を持ち直し感が感じられた。しかし、製造業で△71.4 と悪化割合が最も大きく次いで小売業の△50.0 と業種間で大きな差が表れている。

<売上> 製造業で△57.1 と全業種の中で減少割合が最も多くなっている中で建設業は△3.2 と前回から15ポイントの改善となった。

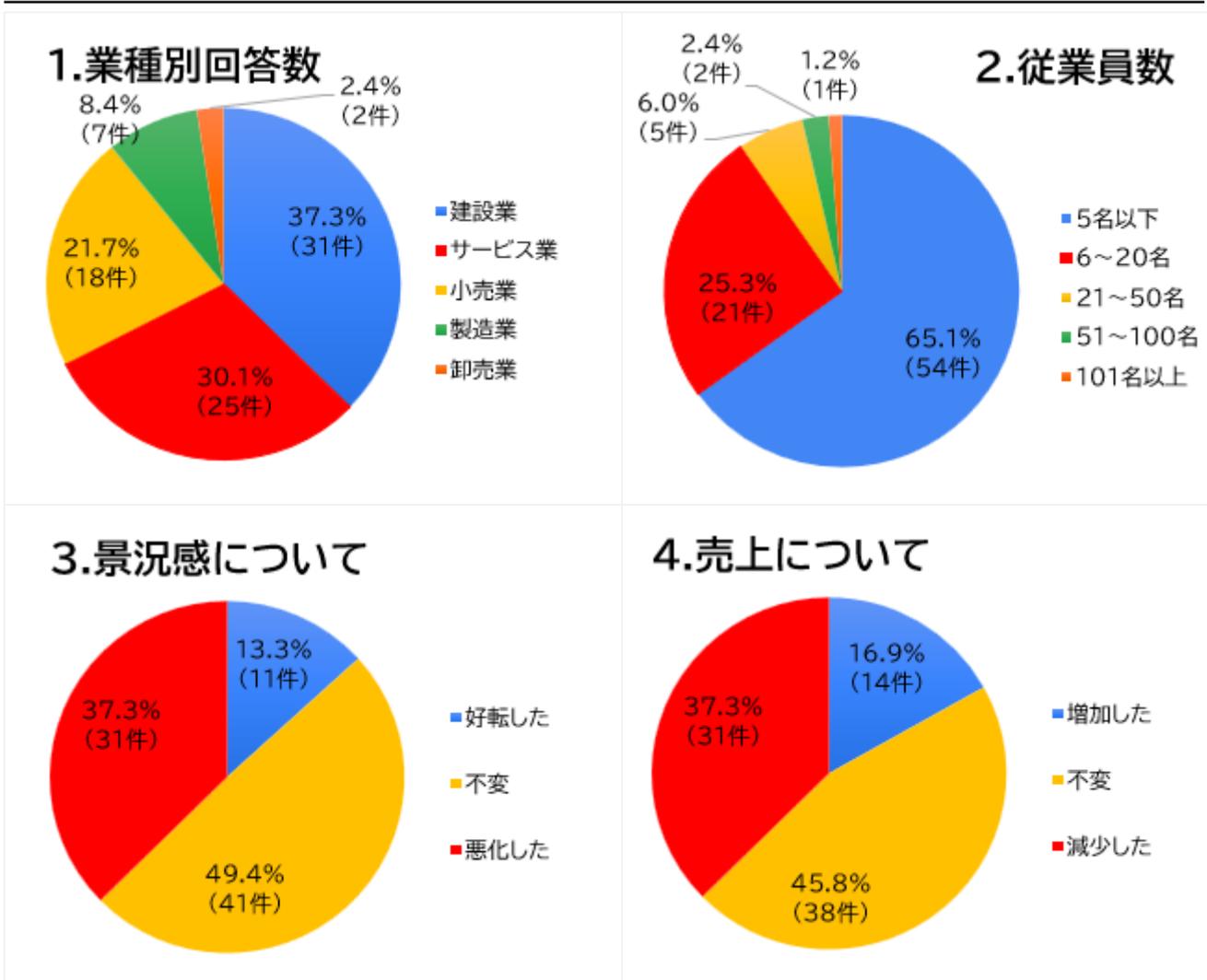
<仕入(原材料)価格> 全業種で軒並み高い数値となっており、依然、仕入・原材料価格の高騰が収まらず、多くの事業所の経営に影響を及ぼしている。

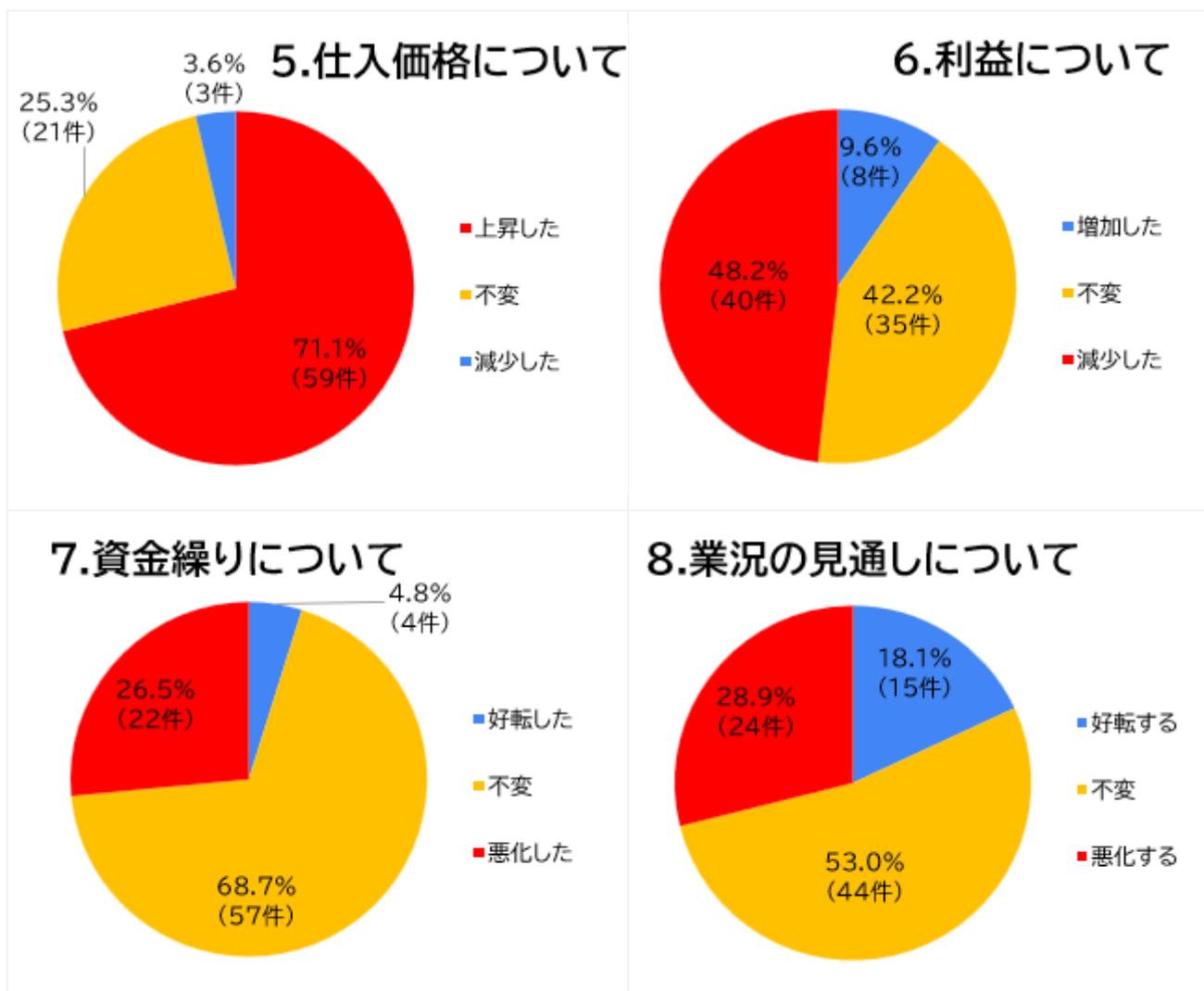
<利益> 建設業では前回の統計から若干の改善がみられたものの、仕入・原材料価格の高騰の影響からか依然として大きくの業種で利益が減少している。

<資金繰り> 資金繰りについては依然厳しい事業所が多く、製造業では前回よりも5.9ポイント悪化した。全業種の平均は前回の調査よりも5.5ポイントの改善となっている。

<3ヶ月後の見通し> 製造業と小売業では前回の調査よりも10ポイント程度悪化した。建設業では「好転する」が「悪化する」を上回り業況の回復を見込んでいる事業所が多い。

【アンケート結果(全業種)の詳細】



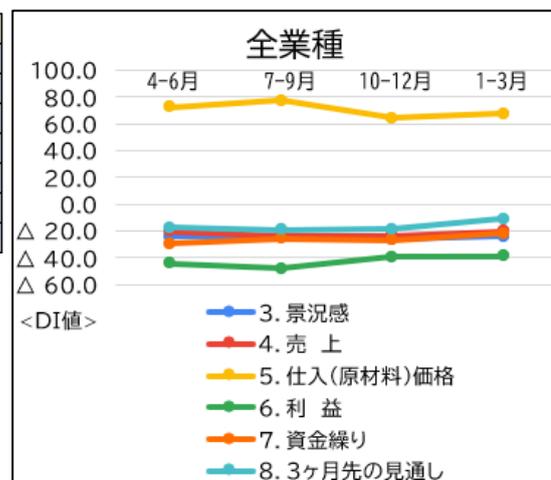


【前回調査からの推移】

[全体の概要]

項目\業種・期間	全業種			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
3. 景況感	△ 24.0	△ 24.8	△ 26.3	△ 24.0
4. 売上	△ 20.4	△ 24.1	△ 23.6	△ 20.4
5. 仕入(原材料)価格	72.2	77.4	64.1	67.5
6. 利益	△ 44.4	△ 48.2	△ 39.3	△ 38.6
7. 資金繰り	△ 29.6	△ 25.5	△ 26.6	△ 21.7
8. 3ヶ月先の見通し	△ 17.6	△ 19.1	△ 18.7	△ 10.8

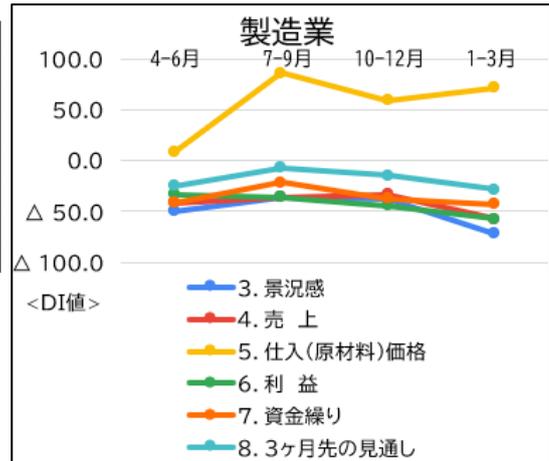
前回の結果と比べ全体的に動きは小さいが、売上は 3.2 ポイント、資金繰りは 4.9 ポイント改善となった。しかし、仕入価格については 3.4 ポイント悪化しており、事業所においては今後も厳しい状況が続くことが予想される。



[製造業の概要]

項目\業種・期間	製造業			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
3. 景況感	△ 50.0	△ 35.8	△ 37.0	△ 71.4
4. 売上	△ 41.7	△ 35.7	△ 33.3	△ 57.1
5. 仕入(原材料)価格	8.3	85.7	59.3	71.4
6. 利益	△ 33.3	△ 35.7	△ 44.5	△ 57.1
7. 資金繰り	△ 41.7	△ 21.5	△ 37.0	△ 42.9
8. 3ヶ月先の見通し	△ 25.0	△ 7.2	△ 14.8	△ 28.6

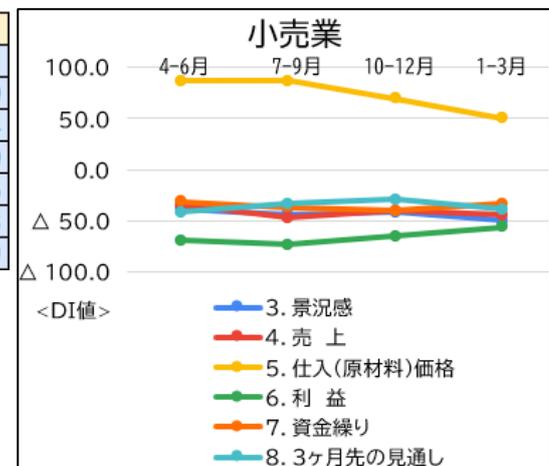
製造業においては全体的に大きく悪化している。特に景況感に関しては 34.4 ポイントの減となっており前回調査時よりも厳しい状況にある。



[小売業の概要]

項目\業種・期間	小売業			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
3. 景況感	△ 38.0	△ 43.3	△ 41.6	△ 50.0
4. 売上	△ 34.5	△ 46.7	△ 40.0	△ 44.4
5. 仕入(原材料)価格	86.3	86.7	69.2	50.0
6. 利益	△ 69.0	△ 73.4	△ 64.6	△ 55.6
7. 資金繰り	△ 31.1	△ 36.7	△ 40.0	△ 33.3
8. 3ヶ月先の見通し	△ 41.4	△ 33.3	△ 29.2	△ 38.9

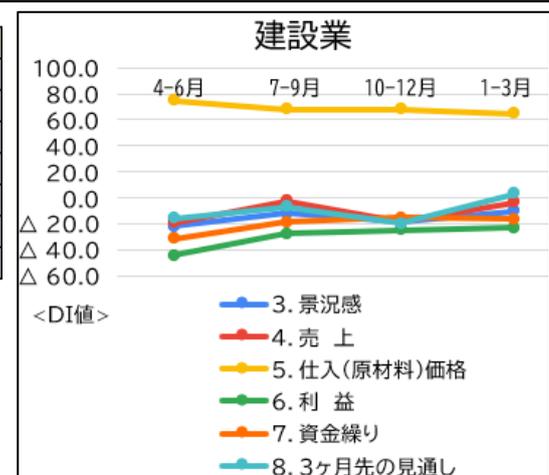
仕入(原材料)価格で 19.2、利益は 9.0 資金繰りでは 6.7 ポイントといずれも改善傾向にある。しかし景況感では 8.4、売上では 4.4 ポイントの減となっており、3ヶ月先の見通しでも 9.7 ポイント減と厳しい状況が予想される。



[建設業の概要]

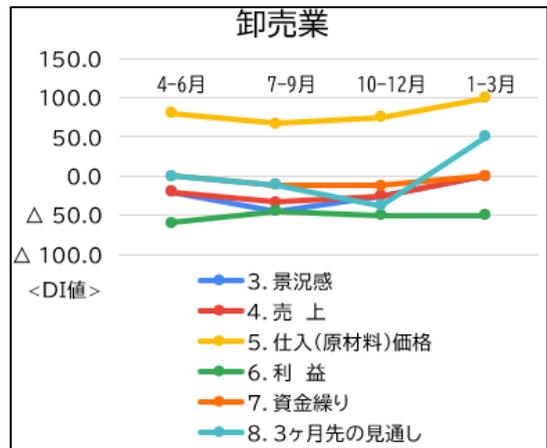
項目\業種・期間	建設業			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
3. 景況感	△ 21.9	△ 11.4	△ 18.2	△ 9.7
4. 売上	△ 18.8	△ 2.3	△ 18.2	△ 3.2
5. 仕入(原材料)価格	75	68.2	68.2	64.5
6. 利益	△ 43.7	△ 27.3	△ 24.3	△ 22.6
7. 資金繰り	△ 31.2	△ 18.2	△ 15.2	△ 16.1
8. 3ヶ月先の見通し	△ 15.6	△ 6.8	△ 19.7	3.2

建設業では資金繰りが 0.9 ポイントの悪化、仕入価格は 64.5 ポイントと高い数値となっているが、売上で 15.0 ポイントの改善、3ヶ月先の見通しではプラスに転じるなど全体的には改善傾向にあり業況が好転している事業所も増えている。



[卸売業の概要]

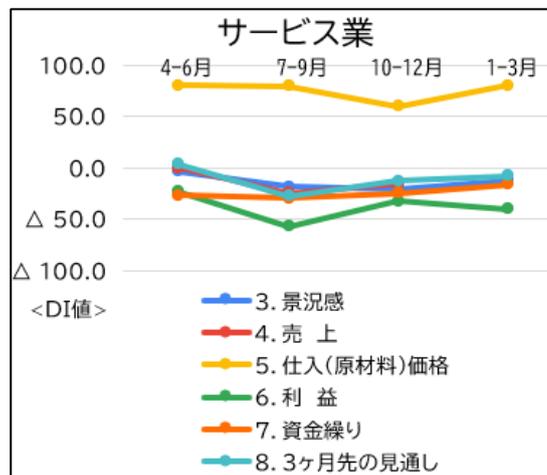
項目\業種・期間	卸売業			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
3. 景況感	△ 20.0	△ 44.5	△ 25.0	0.0
4. 売上	△ 20.0	△ 33.3	△ 25.0	0.0
5. 仕入(原材料)価格	80	66.7	75.0	100.0
6. 利益	△ 60.0	△ 44.5	△ 50.0	△ 50.0
7. 資金繰り	0	△ 11.1	△ 12.5	0.0
8. 3ヶ月先の見通し	0	△ 11.1	△ 37.5	50.0



卸売業では全般的に前回よりも改善されている中であって仕入れ価格高騰の影響により利益については前回同様のポイントとなったと思われる。

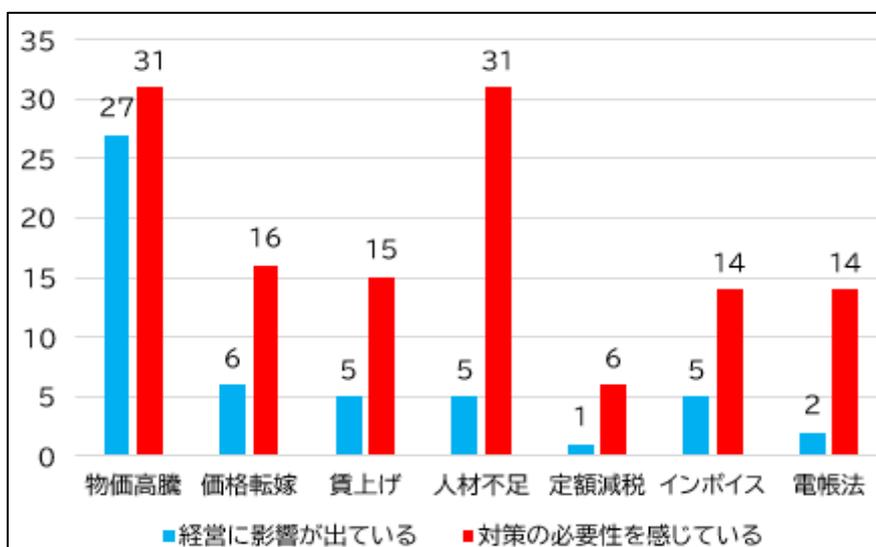
[サービス業の概要]

項目\業種・期間	サービス業			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
3. 景況感	△ 3.3	△ 18.2	△ 20.5	△ 12.0
4. 売上	0	△ 25.0	△ 15.8	△ 16.0
5. 仕入(原材料)価格	80	79.6	59.9	80.0
6. 利益	△ 23.3	△ 56.8	△ 32.3	△ 40.0
7. 資金繰り	△ 26.7	△ 29.6	△ 24.5	△ 16.0
8. 3ヶ月先の見通し	3	△ 27.2	△ 12.6	△ 8.0



景況感で 8.5 ポイント改善したが、仕入価格で 20.1、利益で 7.7 ポイント悪化した。また、資金繰りや3ヶ月先の見通しでは前回調査より改善されており、今後の先行きに期待している事がうかがえる。

[経営への影響や対策の必要性について]



上記の結果から、多く事業所にとって物価高騰と人材不足は最も大きな課題であることがうかがえる。課題を解決するために、コスト削減や価格転嫁などの対策を講じる必要はあるが、物価高騰に加え賃上げや人材不足などが重なり、小規模事業者にとって非常に難しい課題となっている。

また、インボイス制度や電子帳簿保存法は経営への影響は少ないが、税務上必要な制度であることから商工会の継続した支援が必要と思われる。

その他、経営に影響を及ぼしている要因や、お気づきの点やご意見ご要望について

- ・物価が上がり、社員の賃金を上げる中にお客様との価格交渉ができない、会社としての利益減。
- ・新規のお客様が増えている気がします。
- ・定額減税(国で計算、対応してほしい)。
- ・安定のある仕事量(入札等)の確保。
- ・お客様離れ。
- ・対策のしようが無い。もう充分に対策してきたこの状態。
- ・昨年度より近隣に大手の同業者が出店の為売上が減少していますが戻ってきてくれる事に期待している。
- ・先日の神栖市内での撮影など、もっと神栖市が協力して事業者などにも声をかけて、神栖市をアピールしても良かったのではないかと思います。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

景気動向に関するアンケート調査結果(2024年6月)

実施・編集 神栖市商工会

お問合せ TEL0299-92-5111